

【発行日：令和8年3月31日 発行者：つるが男女共同参画ネットワーク】

会長からのご挨拶

日頃から、男女共同参画ネットワークの活動にご理解とご尽力をいただき、厚く御礼を申し上げます。今年、女性が参政権を得て80年となり、初めての女性首相が誕生しました。ようやく、日本も欧米並みに女性閣僚が増えるだろうと期待しましたが、従来通りの難壇映像に、女性議員数がまだまだ足りないのか、政界の男社会の壁が厚いのかと考えさせられました。

さて、二年前に多くの役員・理事が交代し、新体制で取り組んできましたが、本年度は、大きな課題解決へのチャレンジ「体制の充実と活

動の裾野を広げる」に着手しました。他ネットワークとの交流会に加え、西地区女性の会様、東洋紡（敦賀事業所）様、市立看護大学学生様との交流会を開催し、まずは現状を知ること、そして私たちの課題を確認することから始めています。

令和8年度も、「すべての人が、生きづらさを覚えることなく暮らしやすい社会の実現に向けて」をテーマとして、様々な課題解決にチャレンジしてまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



（篠原 悦子）

定期総会を開催

令和7年4/21（月） 4月21日、あいあいプラザ（2階ふれあいホール）において、令和7年度総会を開催しました。

開会のことばの後、参加者全員で敦賀市歌を斉唱、続いて「敦賀市男女共同参画都市宣言」を唱和しました。

篠原会長の挨拶の後、来賓として臨席いただきました米澤光治市長様と山本武志市議会副議長様から、心強いご祝辞を頂戴しました。

議事では、令和6年度事業及び収支決算並びに監査報告が承認、また、令和7年度事業計画案及び収支予算案についても全て承認されました。

総会終了後は、講演会が開催され、敦賀市市民生活部危機管理対策課による「防災まちづくり講座」を受講しました。敦賀市の防災に関する取組を中心に説明いただき、合わせて「地域でできる防災」についても、体験を含め紹介されました。簡易ベッドや簡易トイレ、また毛布を使った搬送など具体的な説明の後、体験もさせていただきました。特に、毛布を使い担架として利用するなど、とても勉強になりました。

災害時には、落ち着いて行動し、互いに声をかけ合って協力することが、「まちづくり」にもつながっていくことを実感しました。



令和8年2/28（土） 次年度事業に向けての意見交換会 2月28日、松原公民館において、「加盟団体（リーダー）の意見交換会」を開催しました。事業計画では、以前開催していた会員の親睦を深めることを目的とした「会員の集い」の再開を予定していましたが、今回はそのための環境づくり（加盟団体のつながりを強める）を先行実施しました。

出席者は当会を構成する加盟団体のリーダー18名であり、最初に各団体の現状と課題を共有し、その後、当会の現状、課題、次年度に向けた取組について、意見を交換しました。

各団体からの活動報告では、新規加入が思わしくない、リーダーのなり手がいない、行事開催も難しいことが、共通課題であることを再確認できました。また、当会の活動状況についても直接お伝えすることができ、理解を深めていただく機会となったと思います。

当会は、本年度から、体制の充実と活動の多様化に向け新たなチャレンジを開始していますが、各リーダーは所属団体においても重責を担っており、負担が大きい中で、男女共同参画という新たな分野を担っていただいている状況もあり、当会の活動に稼働面、経験面で苦労されている現実があります。新たな取組の推進は厳しい状況の中で取り組むこととなりますが、今後所属団体のご理解とご協力を得て一歩ずつ着実に前進させて参ります。



男女共同参画

【男女共同参画共通ロゴ】

☆ 敦賀市取組との協働 ☆

令和7年5/30～6/22 男女共同参画推進パネル展で活動紹介 敦賀市が開催した「男女共同参画月間パネル展」に、当会の活動紹介パネルも展示していただきました。

本パネル展は、5月30日～6月8日はオルパークで、6月17日～6月22日は市立図書館で、それぞれ開催され、多くの方に当会の活動を知っていただく機会となりました。



国際女性デー啓発活動を実施

令和8年3/6（金） 市主催の国際女性デー啓発パネル展示が、2月24日～3月9日に市役所1階オープンスペースで開催されている中、当会は3月6日にミモザの小さな花束をお渡ししながら、国際女性デーの意義をお伝えしました。

2026年のテーマは、「権利、正義、行動。すべての女性と少女のために」であり、私たちの結束した決意を強める機会となりました。

本取組は、昨年度から新たに開始していますが、継続することにより、皆様に関心を持っていただき、理解を深めていただけることは有意義であると考えています。



令和7年5/5（月） 共家事啓発イベントに参加

5月5日、こどもの国において、市民協働課の啓発活動に参加し、1階入口でアンケート用紙を配布し、2階で記入していただくようご案内しました。当日は開館1時間前からポニーの乗馬券を受け取るため、外では長い行列ができる等にぎわっていました。小さい子供たちが、「はぴりゅう」の着ぐるみを見つけ抱きつく姿をほほえましく思いました。

今回のテーマは、「あなたの家にも潜んでいるかも!?名もなき家事妖怪をやっつけよう」。少し漠然としてわかりにくいと思いましたが、アンケートには「水のへらないコップ」、字の書けない子供は絵を書いてくれました。100組以上の親子がアンケートに記入し、「共家事」について考える機会になったと思います。



街頭キャンペーンに参加

令和7年6/26（木） 6月26日、男女共同参画啓発の街頭キャンペーンにおいて、市民協働課職員と会員合わせて8名が、男女共同参画ネットワークのタスキを掛け、のぼり旗を立てて、1時間ほど、来店されたお客様に啓発チラシを手渡すことができました。

当日の朝は、強風と大雨で随分心配しましたが、始まる頃には風も雨も止み、多くの買い物客がお越しになりました。

持ち帰られたチラシをお読みいただき、「男女共同参画」「共家事」のことを考え実践していただけたらと思いました。



編集後記

本年度も、様々な活動を進めてきました。振り返ってみれば、役員・理事が協力し、会員のご理解とご支援を得ながら、知恵を出し合い、苦労しながら取り組んだ成果です。次年度の活動も心新たにチャレンジを続けます。

お知らせ

○令和8年つるが男女共同参画ネットワーク総会

・日時：令和8年4月21日（火） 13:30～
・場所：あいあいプラザ（2階ふれあいホール）

○ふくいきらめき

フェスティバル 2026
・日時：令和8年6月20日（土）
・場所：福井県生活学習館

加盟団体

- 敦賀市女性の会
- 敦賀市婦人児童福祉協議会
- 国際交流はぎの会
- 敦賀更生保護女性会
- 敦賀市消費者連絡協議会
- 敦賀市食生活改善推進員連絡協議会
- 福井県民生活協同組合第3地区本部
- 福井県退職公務員連盟敦賀支部

【募集】新しい団体・個人の加入をお待ちしています。

令和7年
6/22
(日)

ふくいきらめきフェスティバルに参加

6月22日、福井県生活学習館において、「ふくいきらめきフェスティバル2025」が開催され、当会から30名が参加しました。今回のテーマは、「人づくりと人の輪で学び考え、広げよう未来」でした。



オープニングの福井ジュニア管弦アンサンブルメンバーの演奏に続いて、式典が行われました。



その後は、ふくい女性財団設立30周年記念講演として「新たなことにチャレンジ! 人生をもっと楽しく～わたしの未来はわたしが決める～」と題して、産婦人科医・医学博士・産業医の高尾美穂氏の講演をお聞きしました。最初は、高尾氏の幼少時期のお話から始まり、生い立ちなどについて話されました。心に残った言葉は、



- ①自分の時間をつくる
 - ②箇条書きにする
 - ③半年後、一年後の計画を立てる
 - ④時間の使い方
 - ⑤自分が納得できる人生
 - ⑥自分を変えられるが他人は変えられない
- 様々な考え方で、自分を理解してコントロールできる。他人を理解することで幸せに繋がれる。自分だけの喜びにしておかないで、皆で分かち合うことで得られる喜びが最大である。今ある幸せを当たり前と思わないで、感謝し楽しい時間を増やしていく。小さな一歩から、さあ皆さんと一緒に前に進みましょう!!
- 心に響く講演で、常に前向きに、ポジティブに生きようと思ったひと時でした。



令和7年
10/5
(日)

JoyJoy敦活フェスタに初出展

10月5日、きらめきみなと館と市民文化センターにおいて、JoyJoy敦活フェスタ2025が開催され、大勢の来場者で賑わいました。今回のサブテーマは「Let's enjoy!」“とにかくみんなで楽しみ、そして繋がっていきましょう”でした。



当日は、始めに開会式があり、各団体からの紹介がありました。会場では、ブースとステージに分かれ、各々に展示場を構え活動紹介を行いました。

つるが男女共同参画ネットワークは、大人の方には「クイズで学ぶ」にチャレ

ンジしていただきました。御案内する私たちも会話を楽しみながら、53名の方々に男女共同参画を学んでいただくことができました。やりがいを感じることができました。合わせて、私達の活動を知っていただく機会ともなったことは、大変有意義でした。

男女共同参画クイズ 回答用紙

問題	答え
1 福井県では2023年、共家事の日を制定しました。何月何日でしょうか?	10月10日
2 福井県の共働率は全国で何位でしょうか?	10位
3 世界の男女平等ランキング(2025年)日本は、世界148か国中何位でしょうか?	148位
4 日本の国会議員(衆議院)の女性割合は何%でしょうか?	10.5%
5 格差是正のため、少額者にあらかじめ一定割当り当てることなどを行うことは、何でしょうか?	所得割当り

令和7年
11/27
(木)

市民公開講座を開催

11月27日、あいあいプラザ(2階ふれあいホール)において、神楽町1丁目商店街の活性化に取り組み、2023年6月から同振興組合理事長として「氣比神宮の参道化」の推進を担っておられる中山喜美子氏を講師にお招きし、「～人と人とのつながるまち～地域力と交流の輪～」をテーマに市民公開講座を開催しました。



同氏は、神楽ベっぴん会活動や空き店舗解消取組を推進されている輝く女性のお一人です。

ベっぴん会では、色々なイベントや出向宣伝などを工夫したり、観光客にイメージづける思考をこらしておられるとのこと。せっかく、新幹線が来たのだから、氣比神宮参拝後に買い物などをしていただき、楽しんでいただける商店街にしたいとの思いで、人と人とのつながりを作るため、ロゴマーク入りのエコバック作りや商品開発などもされているそうです。

神楽商店街の発展にご尽力させている様子が伝わる興味深いお話を聞くことができました。

子供さんは、準備した工作で、紙コップやうちわに、工夫しながら花飾りや折り紙を貼り付け、楽しそうに作品づくりに熱中していました。お土産に、子供たちが大好きなお菓子をプレゼントしました。



ブースは、親子のふれあいの場としてもお役立ちでき、有意義なイベント参加となりました。

令和7年
7/10
(木)

西女性の会との交流

7月10日、19時から西女性の会の支部長会に合わせて、当会との交流会を開催させていただきました。

当会から代表者2名、西女性の会より15名、また今年から西公民館より第4次つるが男女共同参画プラン推進員に選出されました社会福祉協議会会長にも出席いただきました。今回、推進員には西女性の会から2名選出されていることを知りました。最初に当会から交流会の趣旨や活動について説明、西女性の会からは広報紙「マメヤナギ」により年間事業を説明いただきました。多岐に渡り活動されている一方、他団体と同様に、会員数が年々減少している、年齢も加わり役員の移行が難しくなっており、活動もしにくくなっていること(西女性の会活動風景)がわかりました。



今回の交流により、当会のことを少しでも理解していただけたかと思います。

令和7年
11/17
(月)

研修旅行(福井男女共同参画ネットワーク交流会)

11月17日、今年は嶺北方面への研修旅行を実施しました。プラザ萬象からバスで出発し、午前中はアオッサ6階会議室で福井男女共同参画ネットワーク様との交流会を行いました。敦賀からは18名が参加、先方からも29団体18名の皆様にご参加いただきました。自己紹介や意見交換を通して、それぞれの団体が行っている活動や課題について知ることができ、多様な視点に触れる貴重な機会となりました。今回の交流で得た気づきや学びは、今後の活動を進めていくうえでの大きな刺激となりました。



昼食には釜飯をいただき、参加者同士で会話を楽しみながら、和やかな雰囲気の中で親睦を



令和7年
12/11
(木)

敦賀市立看護大学生との交流

12月11日、敦賀市立看護大学1階B教室で、若者の意見をお聞きし今後の活動に反映する目的で、学生の皆様8名と当会の8名で、交流会を開催させていただきました。会長挨拶と自己紹介の後、第1部として、敦賀市から「敦賀市男女共同参画の取組」について説明していただきました。第2部は、当会から活動を紹介させていただいた後、意見交換を行いました。学生からは、特に「アンコンシャス・バイアス」についての関心事や、職場での男女共同参画、結婚・出産後の課題など、真剣な表情で意見が述べられました。参加者全員が、改めて「男女共同参画社会についての認識」を共有できた有意義な交流会でした。看護大学の皆様、多忙な中貴重な交流の場を提供していただき、感謝申し上げます。



令和8年
3/12
(木)

企業(東洋紡)との交流

3月12日、東洋紡の事業所見学及び交流会に参加しました。普段何気なく使っている製品の背景には多くの技術があることを知り、とても驚きました。フィルム工場の見学では、設備や製造工程の規模に驚きました。また、繊維やフィルムなどの素材が医療など様々な場面で社会に役立っていることも学びました。



交流会では、女性活躍推進の取組についてのお話も伺い、東洋紡では女性が安心して働き、能力を發揮できる職場づくりに力を入れていることを知りました。今回の見学を通して、女性



の働く環境づくりの大切さについても学ぶことができ、大変貴重な経験となりました。

深めました。その後、越前和紙の里を訪れ、和紙の歴史や製作工程について学びました。職人の方々の丁寧な仕事に触れ、伝統文化を守り受け継いでいくことの大切さを改めて実感しました。

今回の研修旅行で得た交流と学びを、今後の活動に積極的に活かしていきたいと感じる、とても有意な一日となりました。